

# 業績ハイライト（連結）

PERFORMANCE HIGHLIGHT

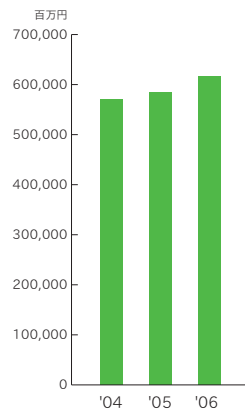
当期は、戦略事業の好調および経営効率化などにより、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益が全て過去最高を更新しました。

## 業績ハイライト（通期）

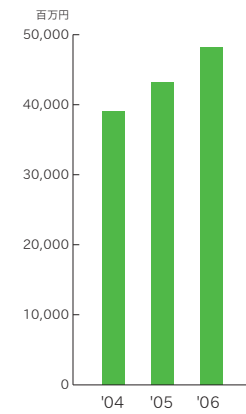
科目	2004年度	2005年度	2006年度
売上高（百万円）	559,006	580,309	620,769
営業利益（百万円）	39,040	43,114	48,074
経常利益（百万円）	33,588	38,915	41,431
当期純利益（百万円）	21,534	23,745	25,147
1株当たり当期純利益（円）	80.27	88.57	92.67

\*2006年度より「役員賞与に関する会計基準」を適用しています。

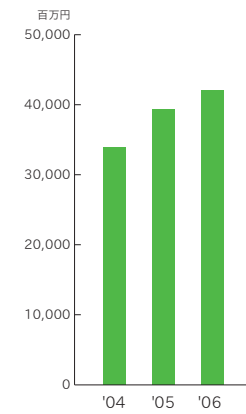
### 売上高



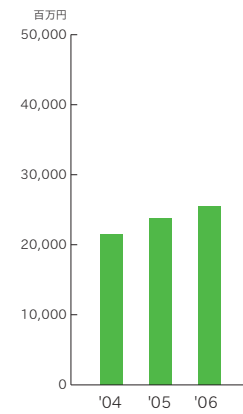
### 営業利益



### 経常利益



### 当期純利益

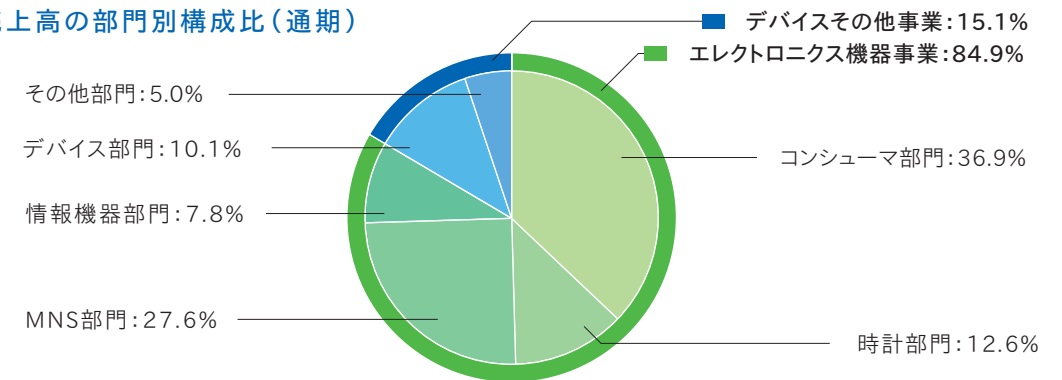


# 部門別の概況（連結）

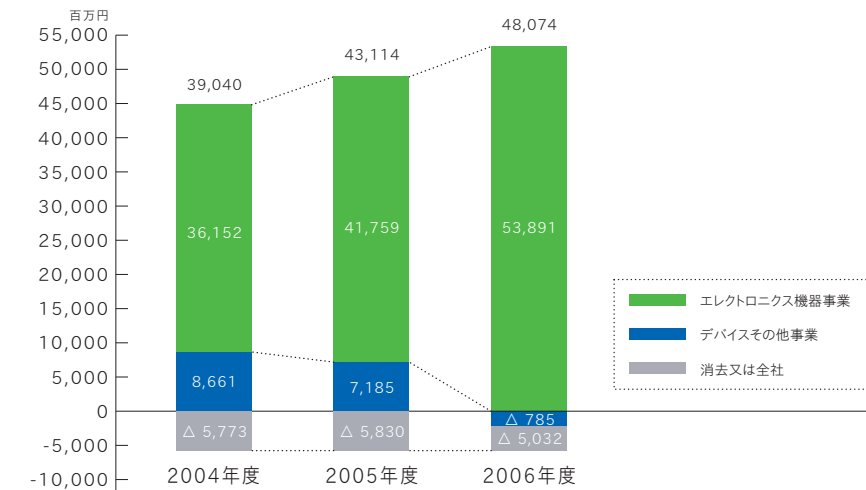
SEGMENT INFORMATION

各部門別の概況を、ご報告します。

## 売上高の部門別構成比（通期）



## 営業利益の概況（通期）



# 部門別の概況（連結）

SEGMENT INFORMATION

業績のご報告

現在の動向

DATA

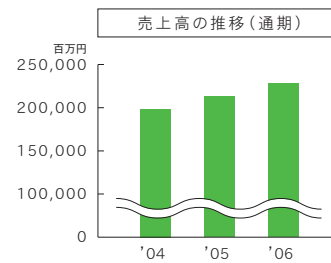
## エレクトロニクス機器事業

デジタルカメラ、携帯電話の増収などにより、売上高は前年同期比11.4%増の5,272億円となりました。

### コンシューマ部門

スタイリッシュなデジタルカメラとして高い支持を得ている「EXILIM」が、コンパクトサイズで世界初の1,000万画素を実現した「EX-Z1000」の発売や積極的な海外展開によりさらに拡大するなど前期に引き続き好調に推移し、売上高は、前期比7.3%増の2,293億円となりました。

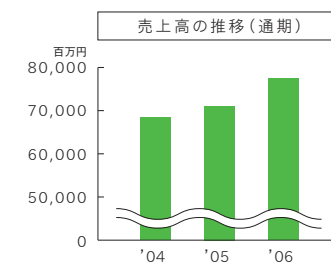
売上高  
229,352百万円



### 時計部門

フルメタル仕様、5モーター搭載の「OCEANUS」が世界5局（日本2局、米、独、英）の標準電波に対応、日本、欧州に加え北米でも積極的に展開してきた結果、売上高は前期比9.7%増の779億円となりました。

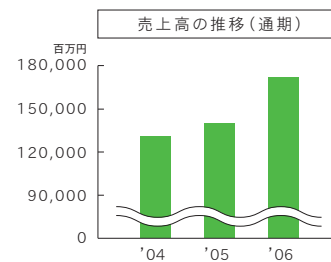
売上高  
77,948百万円



### MNS部門

auで売れ筋トップとなった「W41CA」に続き、高画質で長時間楽しめるワンセグケータイ「W51CA」も好調に推移しました。また“携帯電話端末顧客満足度2年連続No.1”の携帯電話メーカーに選出されるなど、ユーザーの視点に立ち、使い勝手に優れた商品開発に傾注した結果、売上高は前期比22.5%増の1,713億円となりました。

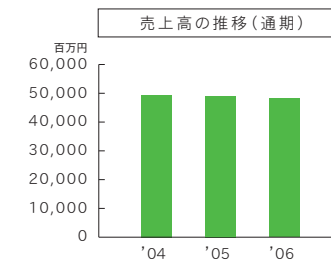
売上高  
171,314百万円



### 情報機器部門

コンパクトなA3対応高速カラーページプリンタや携帯性に優れたスタイリッシュな形状を実現したスーパースリムプロジェクターが堅調に推移。売上高は、前期比0.1%減の486億円となりました。

売上高  
48,602百万円



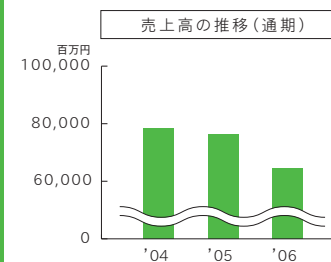
## デバイスその他事業

売上高は、935億円（前期比12.5%減）となりました。

### デバイス部門

TFT液晶の単価下落の影響に加え、カシオマイクロニクス(株)の減収の影響から、売上高は、前期比15.1%減の627億円となりました。

売上高  
62,790百万円



### その他部門

売上高  
30,763百万円

